

医療機器届出番号 28B3X10011000046
医04 整形用品 一般医療機器
家庭用温熱パッド JMDNコード 71019000

販売名: 腰ホットン f

製品特徴

- 温熱により血流改善し、腰などの痛みをやわらげます。
- 腰を包み込み温める幅26cmのワイドサイズです。
- 約48℃^{※1}のじんわり気持ちいい温熱です。痛み
の緩和に適した温度が16時間持続^{※2}します。

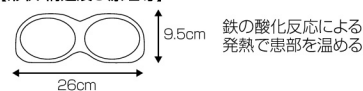
※1: 温熱シートの発熱温度(JIS S4100に基づいて測定)
※2: 40℃以上の発熱が持続する時間

使用に際して、この説明書きを必ずお読みください。
また必要なときに読めるよう大切に保管してください。

【禁忌・禁止】

1. 再使用禁止
2. 肌に直接貼らない
3. 次の方は使用しない
① 自らの意思ですぐにはがせない方 ② 手や足に血行
障がいのある方[①②重度のやけどになることがある]
4. 次の部位には使用しない
① 粘膜、顔(目のまわりなど)[重度のやけどになる
ことがある] ② 湿疹・かぶれ ③ 傷口 ④ 打撲・
ねんざ[②～④症状が悪化することがある]

【形状・構造及び原理等】



【使用目的又は効果】

使用目的: 温熱治療
効果: 温熱効果 ● 筋肉のこりをほぐす ● 神経痛、筋肉
痛の痛みの緩解 ● 血行をよくする ● 筋肉の疲れを
とる ● 疲労回復 ● 胃腸の動きを活発にする

【使用方法等】

使用直前に袋から温熱シートを
取り出し、はく離シートをはがして、
肌に直接触れないよう、もまずに
衣類に貼る。



<使用方法等に関する使用上の注意>

- 就寝時やふとんの中で使用しない。● 本品を使用した
状態でさらに上から押さえつけたり、長時間圧迫しない。
- コタツや電気カーペットその他暖房器具と併用しない。
- 熱いと感じたときに、すぐにはがせない状態での使用は
さける。● 運動時には使用しない。

【使用上の注意】

1. 使用注意(次の方は慎重に使用すること)
① 皮膚の弱い方 [やけどになりやすい] ② 高齢者[生理
機能が低下していることが多く、やけどすることがある]
2. 重要な基本的注意
1) 次の方は使用前に医師または薬剤師に相談する。
① 今までに薬や化粧品などによるアレルギー症状(例
えは発疹、発赤、かゆみ、かぶれなど)をおこしたことが
ある方 ② 糖尿病など、温感や血行に障がいをお持ち
の方 ③ 妊娠中の方 ④ 貼り薬や塗り薬を使用する方

Heat Pad for Back Pain

再使用禁止

2024年1月(第1版)

- 2) 肌に赤み、かゆみ、痛みなどのやけどの
症状がでたときはすぐに使用を中止し、
皮膚科医等に相談する。

3) 使用中の注意事項

- ① 低温やけど防止のための注意
低温やけどは、体温より高い温度の発熱
体を長時間当てていると紅斑、水泡等
の症状をおこすやけどをいう。なお、
自覚症状をとまなわないで低温やけど
になる場合もあるので注意する。
② 熱いと感じたときや異常が認められ
る場合は、すぐにはがす。

【保管方法及び有効期間等】

- 直射日光をさけ、涼しい所に保管する。
- 小児の手の届かない所に保管する。

【取り扱い上の注意】

- 保存状態により、表示の発熱時間に影響を与
えることがある。● 粘着剤で傷む衣類(毛足のな
がい衣類など)や高級な衣類には使用しない。
- 衣類等よりはがすときは衣類等が傷まないよ
うゆっくりとはがす。(貼りなおすと粘着力が低
下する。)
- 温熱シートの発熱が終了したらすぐ
にはがす。● 小児、認知症の方などの誤食に注
意する。間違って飲み込んだときは、うがいをし
て医師の診断を受ける。● 目に入った場合はこ
すらずすぐに流水で15分以上洗い流し、医師
の診断を受ける。● 捨てるときは、市区町村で
定める区分に従う。● 有効期間内に使用する。● 使
用目的以外に使用しない。

A4判の添付文書が必要な方はお客様相談室
までご連絡ください。

＼あったらいいな／をカタチにする

発売元 小林製薬株式会社
〒541-0045 大阪市中央区道修町4-4-10

小林製薬 お客様相談室
0120-5884-35
9:00～17:00(土・日・祝日を除く)

製造販売元
桐灰小林製薬株式会社
〒669-1339 兵庫県三田市テクノパーク18-9



MADE IN JAPAN